

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域職業相談室運営事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課			
施策	5-3	誰でもが安心して働ける環境・基盤づくり		主管課長	渋谷 俊之			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	求職者	意図	職業相談及び求人情報の提供・紹介により雇用を促進し、生活の安定を図る。
事業内容	平成17年8月に国と市が連携して開設した「流山市地域職業相談室」、平成21年4月から相談室のイメージを一新するため、愛称を募り「ジョブサポート流山」とし、ハローワーク松戸と連携し求人情報を提供している。現在ハローワーク2名、市1名の職員を配置している。			
事業開始から現在までの状況変化	上記の事業内容をもとに相談、紹介業務を展開している。利用状況は景気変動などにより増減がある。景気回復基調にあり、求人状況は改善されていると言われているが、現状、地域職業相談室の利用者や就職率はここ数年減少傾向にある。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		ジョブサポート流山使用者	5,265	5,069	4,459	人	
	就職率	12.02	10.99	15.10	%	↑↑↑	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・地域職業相談室の利用者が減少することは、雇用環境が安定してきたものと考えられるが、孤立無業者（スネップ）が多く潜在しているなど、今後は就職スキル等を高める対策や個別相談業務の需要は増加するものと考えている。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,622,552	1,755,071	1,671,569				
事業費(b)(円)	1,364,792	1,328,111	1,339,749				
うち一般財源	1,364,792	1,328,111	1,339,749				
職員給与費(c)(円)	257,760	426,960	331,820				
人役・職員(人)	0.03	0.05	0.04				
人役・再任用(人)			0.01				
人役・臨職(人)	0.03	0.03	0.03				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	施設の機能を有効活用するため、市内事業所など、市民の雇用拡大につながる支援策として採用面接選考会場等として提供する。	取組の課題	経済情勢により、雇用環境は変化するが、地域職業相談室の利用者の高就職率とする必要がある。
今年度(H28)に実施した取組	新規市内進出事業所が行う面接選考会場として地域職業相談室の活用を実施。	今後の改善計画	求職者へは、求人情報の提供に留まることなく、就労支援事業による就職スキルを高めるほか、引き続き、未就労者を対象に個別相談等で早期就労を支援する。